

## 令和7年度 第7回一般社団法人三重県作業療法士会定例理事会 議事録

日時：令和7年11月14日（金）19:00～21:28

場所：WEB開催

出席者：佐藤明俊、宮坂裕之、山本泰雄、牧野有華、大塚美奈子、松本周二、  
上野平圭祐、富中真悟、伊藤正敏、渡邊誠（理事10名）

監事：橋本昌弘、田中一彦（監事2名）

書記：松本周二

部長等：浅沼慎也（福利部部長）、中村清美（倫理委員会委員長）、山口英嗣（発達支援推進委員会委員長）、中西伸彰（災害対策委員会委員長）、栗山翼（啓発部部長代理）

### <協議事項>

#### 1. 入退会者

新入会 1名

休会者 なし

退会者 3名

大塚理事からの報告あり

承認

#### 2. 後援・共催依頼

##### (1) 日本在宅医療連合学会東海支部 第3回地方学術集会

日時：令和8年2月14日（土）13:00～17:00

場所：名古屋大学医学部鶴舞キャンパス基礎研究棟

主催者：日本在宅医療連合学会東海支部会

##### (2) ライフサポートフェスタ（福祉機器展）

日時：令和8年3月14日（土）～3月15日（日）

場所：津市久居総合福祉会館 体育館およびレクレーションホール他

主催：三重療育ネットワーク

##### (3) 三重県慢性腎臓病対策・県民公開講座

「小さな腎臓があなたの健康を守る～はじめてみよう身近な生活習慣の見直し～」

日時：令和8年3月1日（日）12:00～15:30

場所：柿安シティホール大ホール

主催：三重CKD委員会

上記3団体について後援をする

承認

#### 3. 地域・職域での予防・健康づくりを目的とした保健活動について

日時：令和7年10月19日（日）10:00～16:30

場所：WEB開催

令和4年度よりPT協会・OT協会で取り組んできた0次・1次予防の取り組み  
令和7年度以降、47都道府県で実施・実績作りを三重県でも担当部署を新設検討する  
<今後の対応>

- ・令和8年度に向けてニーズ調査と対応部署の設置を検討し、令和9年度以降の事業化を目指す。
- ・組織体制の見直しや新部局設置の可能性について、今後の会議で継続協議。
- ・PT協会との連携や他県の事例を参考にしながら、実行可能な体制を模索する。
- ・実施に向けては、理事会・常任理事で具体案を検討し、次回理事会で報告・協議予定。

継続検討

#### 4. 三重県作業療法士連盟設立について

- ・今後は橋本氏（三重県支部責任者）を中心に連盟活動を進め、理事会と連携しながら体制構築を図る方向で前向きに検討。
- ・設立には活動資金や会員の参加が不可欠。現状では資金が乏しく、会員費による運営が一般的。
- ・来年度の設立を目指し、課題を段階的に整理・解決していく方針。
- ・日本作業療法士連盟会長の土居理事と三重県内での主要メンバーとの会議開催の提案あり。
- ・今後は日本作業療法士連盟本部との協議を経て、理事会で最終判断を行う

継続検討

#### 5. 年度途中で交代する部局員・委員の報酬の取り扱いについて

- 昨年度はブロックの地区担当者が異動に伴い、年度途中に交代した事例があった。  
その際の報酬は、令和6年度第10回拡大理事会にてブロック地区担当者に関しては  
①半年以上業務を担った場合は全額支給、②半年未満の交代は半額支給となった。  
報酬制度が始まってから県士会活動をしている部局員・委員の年度途中の交代（産休・  
育休、異動など）は現在生じていないが、今後生じる可能性も考え、部局員・委員の場合もブロック地区担当者と同様でよいか検討する。
- ・部局員・委員の報酬について、半年以上勤務で全額支給、半年未満で半額支給とする方針が承認された。

承認

#### 6. 福利に対しての会員アンケートの実施について

- ・経済的還元や慰安旅行などの福利内容を見直し、会員満足度向上と退会防止を図る。
- ・アンケートはGoogle フォームを用い、ブロック連絡網を通じて配信予定。
- ・福利部では、所属のみで活動に関与していない会員の意見も把握するため、Google フォームを用いて、年内に内容を協議・作成し、12月理事会で承認後、1月に実施・集計。

- ・2～3月の理事会で結果をもとに活動方針を決定し、総会議案書に反映するスケジュールで進行。

承認

#### 7. 三重 JRAT 隊員募集について

- ・三重県は J-RAT（災害リハ支援チーム）と協定を締結。災害時には県から直接派遣指令が出る体制。
- ・D スタッフ（避難所支援）、L スタッフ（本部支援）、R スタッフ（初動対応）、E スタッフ（緊急支援）の 4 種の役割があり、最低 10 名の確保が急務。D スタッフ L スタッフが特に不足している
- ・現在 5 名が確保済み。令和 8 年度に向けて Zoom 等で研修・資格取得（PFA など）を進める予定。令和 8 年度に 10 名程度の有資格者を登録。
- ・募集はホームページ・LINE で告知。人員が集まらない場合は、大規模施設への協力依頼も検討。
- ・災害関連死の予防や避難所環境整備（トイレ、段差、ベッド等）も活動内容に含まれる。
- ・三重 JRAT は災害時に避難所や本部活動を行う作業療法士の隊員を募集したい。

三重 JRAT 事務局 中西より説明会を行う。

日程：令和 8 年 1 月 15 日（木）、1 月 21 日（水）

スタッフ登録に必要な研修など受講していただく（流れを入れ替えました）

承認

#### 8. 第 36 回三重県作業療法学会より、県士会活動紹介ブース設置について

- ・会員向けに活動紹介、協力部員募集などを行う
- ・今年はポスター発表数が増加し、スペース確保が困難となったが、運営委員内では報告の場の必要性が再確認された。
- ・今後の学会運営において、県士会活動の周知・報告の機会を設ける方向で検討が進む見込み。
- ・代替案として、A4 サイズ程度の活動報告用紙をポスター会場内に設置し、参加者に自由に閲覧してもらう形式を提案。
- ・各部局が希望すれば、活動紹介や協力者募集、アンケート案内などの資料を設置可能。
- ・学術部からも広報的な発信の場として活用したいとの意見があり、PR の機会として積極的に活用する方針に。
- ・資料の提出方法やサイズ等の詳細は後日運営委員より各部局に連絡予定。

承認

#### 9. 県内の 5 歳児検診実施地区の情報把握について

- ・発達支援推進委員会と学術部小児発達班の役割が曖昧であったため、山口委員が学術部会議に参加し、住み分けを確認。
- ・学術部：研修会の企画・実施が主な役割。
- ・発達支援推進委員会：五歳児健診や学校巡回、外部依頼対応など実務的な活動を担当。
- ・五歳児健診の実施状況を把握するため、アンケートや保健所からの情報収集を検討中。
- ・三重県小児科医師会からOTとの連携希望があり、今後の窓口として山口委員が対応予定。
- ・市町や医師会との連携状況は地域差が大きく、OTの関与が難しい地域もあるため、現状把握と情報共有が重要。
- ・県士会としての組織的対応を進めるため、役割や権限の明確化が課題となっている。
- ・今後は三重県医師会の小児科医長との連携を図り、健診実施状況の把握とニーズの確認を進める方針。
- ・その情報をもとに、県士会としての対応策を検討していく予定。

承認

<報告事項>

1. 国民医療守るための総決起大会サテライト開催案内

日時：令和7年11月20日（木）14:00～15:00

場所：三重県医師会館（サテライト会場）

依頼：各団体より2名の参加

出席者：佐藤明俊氏、大塚美奈子氏

2. 48委員会について

日時：令和7年10月25（土）～26日（日）

場所：ハイブリッド開催

現地参加：佐藤明俊氏 WEB参加：松本周二氏、中村清美氏、富中真悟氏

- ・日本作業療法士協会と県士会の一括徴収の試みは、法人格の違いにより困難と判明。
- ・一括徴収を進めると公益法人格を失う可能性があるため、各県士会で個別対応が必要。
- ・2027年の一律化は見送りとなり、今後も運営方法の模索が続く。

<五歳児健診の報酬・制度・連携に関する全国動向>

- ・報酬額は地域差があり、奈良県では8000円希望に対し県は5000円提示。

- ・OT協会は安売りを避け、8000～12000円程度の報酬を国に要望中。

- ・京都府では「子どもサポートチーム」が五歳児健診から学校教育まで連携支援を実施。

<登録作業療法士制度と組織率向上への取り組み>

- ・OT有資格者12万人に対し、協会会員は6万人、認定OTは1万人未満と低水準。

- ・組織率向上のため、基礎研修修了と登録OT・認定OT取得を推進。

- ・登録制度は国政への影響力確保のために重要であり、協会ホームページやYouTubeで情報提供中。

- ・会員への周知と申請促進が求められている。

### 3. 第 20 回みえ福祉用具アイデアコンクール 2025 表彰式について

日時：令和 7 年 11 月 14 日（金）15:10～15:30

場所：三重県身体障害者総合福祉センター 体育館

### 4. 講師謝金の流れ（財務部より）

- ・講師謝金の支払いは、事前に金額を報告し、研修会後に最終確認を経て、財務部が振込を実施。
- ・振込後、翌月 10 日までに源泉徴収処理を行う。
- ・講師には専用用紙を渡し、Google フォーム経由で口座情報を提出してもらう。
- ・用紙とフォームは Google ドライブに共有され、運用は即日開始可能。
- ・各部局は講師への案内と研修会実施報告を行い、未入力時は財務部から確認連絡を行う。
- ・講師謝金手続きについて、Google drive に保存した案を各部局で確認する。

### 5. 教育部より

令和 7 年度第 2 回現職者共通研修

日時：令和 7 年 11 月 16 日（日）

会場：WEB 開催

時間：9：20～15：00

内容：

「日本と世界の作業療法の動向」

講師 野口佑太 氏（鈴鹿医療科学大学）

「作業療法の可能性」

講師 今井あい子 氏（名古屋葵大学）

「保健・医療・福祉と地域支援」

講師 永田得郎 氏（三重県身体障害者総合福祉センター）

### 6. 40 周年式典について

- ・40 周年記念式典における会計係（財務部）について

式典当日に交通費・日当を現地で支払うため、財務部が現金を持参して対応。

金額一覧は事前に財務担当へ送付され、準備を進める。

- ・PT 会長は式典後に中抜け予定のため、案内係による対応が必要。

### 7. 運転と作業療法委員会より（1/31 の研修会案内）

令和8年1月31日（土）の9:30より三重県身体障害者総合福祉センターにおいて実車体験会を開催する予定。先着10名の参加を募っており、興味のある方は早めに予約申し込みをするよう報告があった。

#### 8. 啓発部より

市民公開講座

テーマ：『認知症フレンドリー社会を目指した取り組み

～地域でできる支援と共生のために～』

認知症を持つ人も含め、誰もが安心して地域で暮らせる社会をつくるためには、鈴鹿市のオレンジチーム、小さな本、スローショッピングなど認知症フレンドリー社会の実現に向けた具体的な取り組みを、実際の事例を交えて伝達する。

対象：認知症のご本人や家族、認知症や地域活動に关心がある方

日時：令和7年9月13日（土）14:00～16:00

会場：ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿 第1研修室（三重県鈴鹿市飯野寺家町810）

講師：佐野 佑樹 氏 作業療法士（長太の寄合所「くじら」）

相良 大輝 氏（鈴鹿市長寿社会課地域包括ケアシステム推進室）

形式：対面とZoomのハイブリット形式

参加人数：参加者31名（会場参加23名、オンライン参加9名）

- ・参加者は40～60代中心で、OT含む多職種・一般市民も参加。
- ・満足度は90%以上。OTへの理解や地域活動への関心が高まった。
- ・音響や運営面に課題があり、今後は市の広報ツールなども活用して参加者拡大を目指す。

#### 9. 事務局より

- ・第11回東海三県小児在宅医療研究会の開催について広報依頼

#### 10. 組織部より

##### （1）三重県作業療法士会活動興味・協力調査

期間：令和7年10月16日（木）～10月31日（金）

目的：県士会活動への参加の現状把握と協力の可否、どの分野（部局・委員会）

に興味があるか把握し、部局・委員会の人数調整や協力部員につなげる

調査方法：Google フォーム

結果：38名の会員が回答（すでに活動している：20名、協力したい：1名、少

しだら協力してもよい：4名、できれば協力したくない：1名、協力したくない：2名、今は協力することができない（子育て・介護など）：10

名) そのうち協力したい、少しなら協力してもよいと回答した 3 名から個人の意思で氏名や所属などの入力があった。

(2) 東海北陸リーダー養成研修

日時：令和 8 年 2 月 14 日（土）9：50～15：30

場所：WEB 開催

参加費：7,000 円

参加人数：5 名

申し込み締め切り：令和 8 年 1 月 16 日（金）

講師：太田睦美氏（一般社団法人日本作業療法士会 倫理委員会委員長）

11. 福利部より

(1) ファミリー交流会内容

<今年度の交流会>

日時：令和 8 年 1 月下旬～2 月中旬 11：00～12:00

場所：三重県津市森町 1945-11 おやつタウン

内容：My スペシャルベビースター作り

助成内容：入園料を予算から支出する。（1 人あたり約 2000 円）

実施日が確定次第広報開始

・助成額は参加人数により変動。公平性確保のため、一家庭単位での助成や人数制限の検討が提案された。

・今後、入園料の試算と助成額の再調整を行い、広報時に明示する方針。

(2) 次年度の活動内容予定表作成

今年度、活動の期間を決めていなかったため新人交流会以外の活動が例年より遅れた。今後、年間表を作成し時期に行うことを計画。

年間表を来年度総会にて報告したいと考えている。

12. 地域リハビリテーション部より

(1) 体操動画協力依頼（令和 8 年度）への調整

依頼元：紀北町福祉保健課

撮影日：令和 7 年 11 月 6 日

内容：きほく活活体操の撮影・ケーブルテレビ公開

調整者：浅井 巧氏（リハビリハウスみやま）

(2) 介護予防教室講師依頼への調整

①依頼元：津市社会福祉協議会

日時：令和 7 年 11 月 3 日（月）11：00～11：40

場所：榎原市民会館

内容：座ってできる軽体操と健康増進のために日常生活で活かせるアドバ

イス

調整者：小宮悠一郎（介護老人保健施設 つつじの里）

参加者：30名

②依頼元：津市社会福祉協議会

日時：令和7年11月25日（火）時間調整中

場所：愛宕会館

内容：座ってできる軽体操と健康増進のために日常生活で活かせるアドバイス

ス

調整者：伊藤正敏（三重北医療センター菰野厚生病院）

（3）地域ケア会議見学会について

（4）令和7年度介護従事者各日事業費補助金について

予算合計：84,750円

県補助金：63,000円

次回理事会日程

理事会：令和7年12月12日（金）19:00～

場所：WEB開催